

受益者の皆様へ

2020年3月19日

弊社ファンドの基準価額の下落について（3月19日）

下記公募ファンドの3月19日の基準価額は、前営業日比5%以上の下落となりました。基準価額下落となりました背景と今後の見通しについてご報告します。

【基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド】

ファンド名	3月18日	3月19日	前営業日比	騰落率
世界シェールガス株ファンド	4,909円	4,574円	▲335円	▲6.8%
世界ツーリズム株式ファンド	5,149円	4,774円	▲375円	▲7.3%

【為替】

為替レート	3月18日	3月19日	前営業日比	騰落率
ドル/円	107.39	108.98	+1.59	+1.5%
カナダドル/円	75.46	74.95	▲0.51	▲0.7%
ユーロ/円	118.01	118.89	+0.88	+0.7%

* 為替レートの数値・前日比は投信協会のデータに基づいて作成

【株価】

株式指数	3月17日	3月18日	前営業日比	騰落率
S&P500エネルギー株指数	209.92	179.94	▲29.98	▲14.3%
モーニングスター・グローバル・マーケット	1,832.67	1,735.94	▲96.73	▲5.3%

基準価額下落の背景と今後の見通し

新型コロナウイルスの感染拡大を抑えるため、主要国が不要不急の外出抑制措置を強化したことが嫌気され、昨日（3/18）のアジア・欧州市場で株式市場が急落しました。これに追隨して、米国株式市場も大幅安となり、NYダウ株価指数は、前日比1,338.46ドル安（6.30%安）の19,898.92ドルとなり、3年1ヶ月ぶりに2万ドルを割り込みました。ヒト・モノの動きが一段と抑制されることへの懸念に加え、サウジアラビア主導での原油価格競争激化が嫌気される中、NY原油先物価格は約18年ぶりの安値水準まで下落（前日比24.42%安）、S&P500エネルギー株指数（前日比14.28%安）も大きく下落しました。

米国では新型コロナ対策法案が成立した他、これとは別に包括的な景気刺激法案も継続審議が行われています。また、欧州中央銀行（ECB）も7,500億ユーロ相当のパンデミック緊急資産購入プログラムの導入を決定しており、株式市場ではこれらの対応策を前向きに評価する動きも見られます。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大が続く中では市場センチメントの本格的な回復には至っていないことから、株式市場は引き続き、値動きの荒い展開が続いています。今後の各国政府及び中央銀行の動向とそれに対する市場の反応を注視してまいります。

<投資信託に関するご注意>

■ 投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としております。当該資産の市場における取引価格や為替レートの変動等により基準価額は影響を受けるため、損失が生じる可能性があります。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。

また、ファンドは預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入していません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」を予めあるいは同時にお渡しますので、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

■ 投資信託に係わる費用について

①お申込時に直接ご負担いただく費用 申込み手数料： 上限 3.85%(税抜 3.50%)

②ご解約時に直接ご負担いただく費用 信託財産留保額： 0.3%~0.5%

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬： 年 1.606%（税抜き 1.46%）～2.618%（税抜き 2.38%）

（ハイウォーターマーク方式による実績報酬 22.0%（税抜き 20%）がかかるファンドもあります）

④その他費用

有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、監査費用、

信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※詳しくは各商品の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

※リスクについては一般的な投資信託を想定しています。また、費用の料率等につきましては、キャピタル アセットマネジメントが運用する投資信託のうちでの上限や範囲を示しております。投資信託に係わるリスクや費用は商品ごとに異なりますので、ご投資をされる際には、事前に「投資信託 説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

<当資料に関するご注意>

■ 本資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の市場環境の変動等を保証、示唆するものではありません。

■ 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が、信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■ 本資料に記載されたキャピタル アセットマネジメント株式会社の見解や見通しは本資料作成時点のものであり、市場環境等の変化により、予告なく変更する場合があります。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長（金商）第 383 号

加入協会： 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会